

議会報告会 町・議会に対する主な意見・要望等に対する回答

【議会報告会】

《日時・場所》・令和8年2月11日（水） 午後1時30分～午後3時

- ①はまかぜ交流センター ②総合町民センター
③ふるさと交流センター ④里山文化交流センター

《内 容》 1.議会からの報告（令和6年度決算、今年度の主要事業、議会活動など）
2.意見交換 テーマ 『町と原子力発電所の未来を考える』
『農林水産業の未来を考える』
『安心して暮らせるまちづくり』

1. 地方バス路線(福鉄バス)対策として、約5千8百万円補助されているが、朝夕のバスには乗車されているが、昼間は無人の状態となっている。昼間の運行を取りやめ、デマンドバスに切り替えれば、補助金の削減に繋がるのではないか。

2. JR若狭本郷駅発着の福鉄バスとJR小浜線との乗り継ぎ関係の時間が合っていない。

3. デマンドバスを利用するには予約する必要がある、急な用事の場合利用しにくい。(使いたいときに使えない)

【回答】 総務常任委員会では交通対策について、最重要テーマに掲げて活動を続けています。デマンドバスにおいては試行運転ですが、大飯地域から高浜病院へのデマンドバス路線の延長や名田庄地域から小浜市谷口バス停までの延長も、町へ提案し実現できました。

現在、路線バスは町民に必要な交通となっていますので、今後も自家用有償旅客運送の導入等、住民移動にとって最適な交通施策となるよう活動します。

4. スクールバスが通らない地域（長井・成和・小堀）の対策が必要である。教育委員会に伝えたが改善されない。

【回答】 現在検討がなされ、今後方針が示されます。

5. 大学の理系を中心に修士課程に進む生徒が多く、奨学金の借入額も多くなると、卒業後の返済も大変となる。町への返済は必要となるのか。保護者の所得制限はあるのか。

【回答】 進学サポート給付金は、令和元年度から実施され月額2万円支給となっており、返済については必要がない制度です。所得制限の撤廃や6年生大学への給付、国外の大学への給付等対象の拡大など支援内容の充実が図られています。

**6. 丸山公園付近県道から青戸区に入る道路の「止まれ」表示が消え、標識もなく危険である。
また、運動公園に向かう学生達が道路を渡り危険なため、横断歩道を設置してほしい。**

【回答】「止まれ」の表示は現在手直しが済んでいます。また、横断歩道につきましては防災安全課に情報提供をしました。

7. こども家族館の管理運営経費が高額で町の負担が大きいと思うが、対応状況は。

【回答】建設は県、維持管理は町として覚書による事業なので、再三要望はしているが県負担は難しい状況です。しかし、ボールプールエリアのリニューアル後に入場料金が改訂され3千万円を超える歳入となっており、歳出については人件費や維持管理費の増により1億5千万円となっています。
3月にオープン予定の「恐竜体験ゾーン」が供用開始され、うみんぴあエリアへの誘客にも更に貢献出来る施設となっています。

8. 大島保育園の山側に柵がなく、荒れ放題状態となっているが、町で対応ができないか。

【回答】山肌が急峻で改修が難しい現状ですので、現在、対策方針を園と担当課で協議しています。

9. 共創会議の資金の使い道を県主導ではなく町から提案するべきではないか。発電所のある地元で活用してほしい。

【回答】町からは「うみんぴあエリア」の活用・スマート農林水産業の振興・地域交通の維持充実・インフラ整備と医療の充実の4点を要望しています。

10. 渇水対策として、渇水時には、上流のダムの水を放出したり、砂防ダム等の堆砂土砂を取り除き、水を貯めて利用してはどうか。

【回答】担当課に確認しましたところ、本町のダムは砂防ダムや治山ダムで、土石流の補足や山を安定させる目的で設置されており、利水ダムと違い、構造上水抜き穴が設置され水を貯める機能はありません。また土砂をダム背面に溜めることで川の勾配が緩やかになり、川底や河岸の削れを防ぎ、土石流の破壊力を弱めたり、山の斜面の崩れを防ぐ働きもあることなどにより土砂の撤去は行っていないとのことです。

11. 渇水対策として、水源のない地域は上流地に農業用用水を溜めておける大型タンクの常設等、対策を考えてほしい。

【回答】機動的、補助的な対策として活用できますが、農業用水として必要とされる水量は受益面積により異なり、タンク容量、取水方法、設置場所、維持管理方法等、地域の実情にあった検討が必要と考えています。

12. 田井谷ダム（川上地係）が出来なくなったのはなぜか。

【回答】担当課に確認しましたところ、平成3年に地権者の同意が得られなかったことにより断念したもので、再検討することは考えていないとのことでした。

13. 水産業の後継者がいない現状では、外国人や町外の人に頼らざるを得ない中で、来てくれた方の住まいが問題である。旧大島公民館（志摩ホーム）の利用もしにくい。

【回答】一次産業活動拠点施設（志摩豊夢）は、一次産業の体験や研修をされる際に就業意欲を高め一時的に滞在できる施設として、外国人や町内外の人を問わず誰でも利用できます。これまで漁業関係者の研修や学生の農業体験などで利用されています。（宿泊：300円/人）（日帰り：町外者/100円人）

14. 除雪車について、区内のメインの生活道路でなく、使用頻度の少ない細い道に除雪車が入っている現状を改善してほしい。

【回答】区内における主要な生活道路の除雪は必須であり、除雪路線の優先や追加検討については、区長を通じて建設課へ情報提供をお願いします。

15. 以前は評価が高く人気があった赤線崎オートキャンプ場だが施設が老朽化していてイメージが悪くなっている。対応は。

【回答】当該施設は県有施設のため、町や指定管理者の(株)おおいから、毎年県に対し修繕要望を出し、県が順次修繕を行っている状況です。議会としても町と連携し、県に対し要望していきます。

16. 夏場の渇水期に発電所から大津呂ダムに水を運んでいたが、ダンプの通行や運行計画について地元や大島区長会には何の連絡もなかった。住民から苦情が出るようなことになった原因と対策の確認が必要である。

【回答】渇水対応時(水運搬)においては、有線放送により事前告知を全町的に行い、水運搬用車両が通行する通学路の横断箇所には交通誘導員を配置するなど、安全に配慮し対応しましたが、大島地区区長会等への個別の連絡ができなかったことは、反省すべきであり、今後は丁寧できめ細やかな広報に努めていくことを担当課（上下水道課）に確認しました。

17. 大飯発電所の乾式貯蔵について、使用済燃料が永久保存にならないか心配している。

【回答】乾式貯蔵につきましては、使用済燃料が長期にわたり滞留するのではないかとのご懸念について、議会としても重要な課題であると認識しています。現在のところ、国の方針に基づき、使用済燃料対策ロードマップに沿って対応が進められているところであり、その進捗状況を引き続き注視してまいります。また、新たな動きや重要な情報が生じた場合には、速やかに関西電力株式会社から報告を受けられるよう要請しており、今後も適切な情報把握と確認に努めてまいります。

18. 原子力災害時の避難道として、青戸大橋の他に新たな橋梁の早期建設が必要。

【回答】議会としても、国・県に常に要望をしていますが、前知事からは、橋梁新設は大規模な工事であり、県は現橋のメンテナンスによる長寿命化を図っていく方針との回答です。

19. 原子力と町の将来を考えると、産業や雇用の面から、大飯発電所の1, 2号機のリプレースが必要である。

【回答】原子力発電は、資源に乏しい我が国において重要なエネルギー基盤であり、また地域における雇用の確保や産業の維持の観点からも、大きな役割を担っていると認識しています。一方で、安全性の確保や将来的なエネルギー政策の動向については、国の責任のもとで慎重に判断されるべきものです。

議会としては、国や県の方針を注視しつつ、地域の産業振興や雇用確保の観点を踏まえ、町民の皆様のご意見をしっかり受け止めながら、今後の在り方について適切に対応していきます。

※回答内容については、令和8年3月末現在のものです。

【担当課に情報共有した意見・要望等について】

*当日、会場でいただきました次の意見・要望等につきましては、それぞれの担当課に伝え、情報共有しました。

- ・国費による学校給食費は小学校だけと聞いているが中学校はおおい町の独自予算で無償化になるのか。【担当課：学校教育課】
- ・おおい町の町史を作ると聞いているが本当か。もし作成するのであれば各集落単位での詳しい調査をお願いしたい。【担当課：総務課、社会教育課】
- ・頭巾山青少年旅行村のかやぶき家屋が解体されているのを最近知った。知っていれば写真を撮りたかったが残念である。おおい町は情報発信が不足しているので広報活動にもっと力を入れてほしい。【担当課：商工観光課】
- ・火葬場を早く建設してほしい。都会では街中に綺麗で違和感がない葬儀場がある。【担当課：住民窓口課】
- ・火葬場の候補地選定はどこまで進んでいるのか。 【担当課：住民窓口課】
- ・町費負担教員は、単年度雇用なのか。【担当課：学校教育課】
- ・合宿施設の指定管理者が見つからないとのことだが、この先の見通しは。【担当課：社会教育課】
- ・全国的に上下水道管の劣化が進んでいる。おおい町でも度々断水が起こっているので整備に予算をかけて改修していく必要がある。水道施設の老朽化により多額の維持管理経費が必要になるが、上下水道料金は今後どうなるのか。【担当課：上下水道課】
- ・人口減少対策として雇用創出のための企業誘致や、大島地区に若者に特化したアパートを作してほしい。
U・Iターン対策として受け皿づくり（企業誘致）が必要ではないか。小学生の学習発表表において、進学後に地元へ帰ってきたくても、働く場所がないと言っている。
【担当課：建設課、しごと創生室】
- ・防波堤が整備されたが、地球温暖化による海面水位上昇で機能しなくなる恐れがないか対策は。【担当課：建設課】
- ・大島トンネルの照明がほとんど消えていて暗いため見えにくい。【担当課：建設課】
- ・林道整備について、山林に入るために土砂崩れや道路崩壊箇所を補修してほしい。丁寧な補修よりも、通行可能程度で件数増を望む。【担当課：建設課】

- ・発電所 1, 2 号機の廃炉以降、大島地区の旅館が打撃を被っている。個室化などの改修に助成が受けられないものか。【担当課：商工観光課・建設課】
- ・おおい町のブランドとして、代表的なものをしっかり作っていくべきである。【担当：農林水産課・商工観光課】
- ・うみんぴあ敷地内は釣り禁止となっているが海を生かして釣り OK にできないか。弁当の放置等には啓発が必要である。【担当：商工観光課】
- ・近年、熊の問題が深刻化しているが、熊を人里に近づけないよう森林整備や里山境界の畑や果樹等の整備を進める必要がある。【担当：農林水産課】
- ・認定農家への補助は手厚いようだが、後継者不足の観点から、若い人、個人農業にも支援が必要と思う。【担当：農林水産課】
- ・名田庄地域では青空協議会として道の駅や自然薯祭りで農作物等の出店をしているが近年では会員が減ってきている。各分野の後継者等の育成に助力してほしい。
農業・林業・観光商業の担い手育成については本当に困っている方たちの意見をしっかりと聞いてほしい。
各分野の担い手不足解消には若手の中で強いリーダー的存在を作る必要があり、ここに投資をするべき。【担当：農林水産課】